

【2024.3.14（木） 北陸中日新聞 能登面】

音楽療法士 癒やしの調べ

七尾・恵寿総合病院 京都の3人が演奏

七尾市の恵寿総合病院で13日、患者や従業員向けにスプリングコンサートが開かれた。

被災した恵寿総合病院を音楽で元気づけようと、医療法人洛和会ヘルスケアシステム（京都市）から音楽療法士3人が同病院を訪れた。会場には入院患者や医師や看護師など約60人が集まり、音楽療法士のキーボ

ードやフルートの演奏に合わせて、「春の小川」や「上を向いて歩こう」など計9曲を一緒に歌い、癒やしの時間を過ごした。

神野正隆理事長補佐は「患者さんの治療が前に進みます」とあいさつ。入院患者の一人は「懐かしい曲ばかりで元気をもらいました」と話した。（後藤仁）



音楽療法士と一緒に歌を楽しむ入院患者＝七尾市板町で